

# リサーチ・クリップ

2013/3/29 No.50

リサーチ・クリップでは、最近関心の高まっている環境問題、企業の従業員・地域社会といった様々な社会との関わりなどに関する記事や、国内および海外における公募投信（以下、ファンド）の最新情報を紹介します。

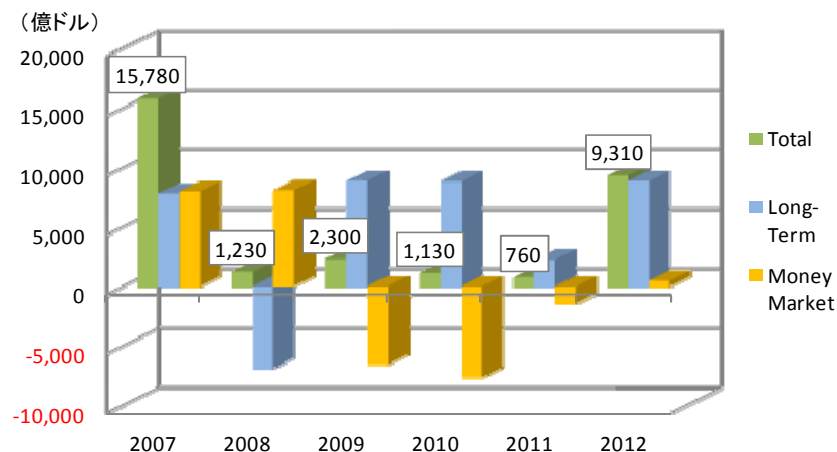
ファンド

## 2012年における主要地域の資金動向および米国の新規設定の特徴（Strategic Insight より）

ファンド資金動向： 流入額はリーマンショック以降最高、但し地域差あり

2012年は、世界全体で9,310億ドル（約81兆円）の純流入があった<sup>1</sup>。これは2007年（1.6兆ドル弱）には及ばないものの、直近5年では最も多い流入額である。さらに、短期商品（Money Market）、中長期商品（Long-Term）が、ともに純流入になったのは2007年以来、5年ぶりである<sup>2</sup>（図表1）。

図表1 ファンド資金動向の推移（2007年以降）



注：枠内の数値は合計値。  
出所：Strategic Insight データより NFI 作成

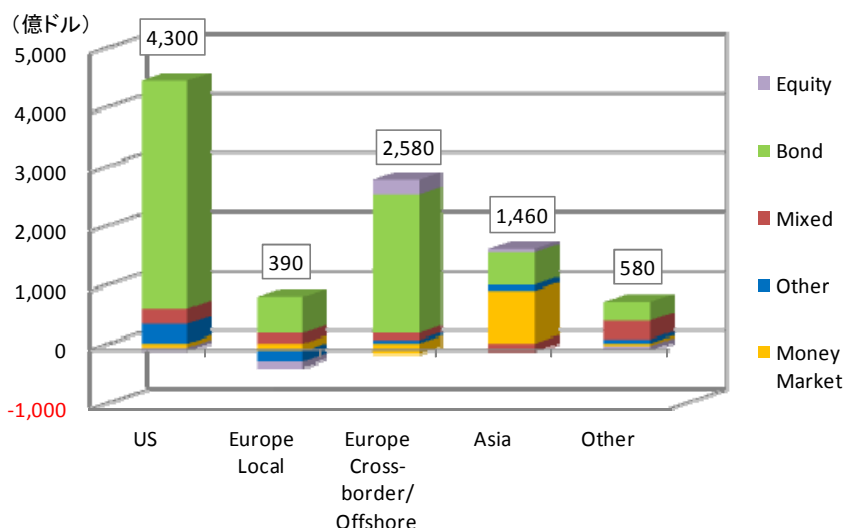
<sup>1</sup> 1ドル = 86.6円で換算（2012年12月28日時点の為替レート）。

<sup>2</sup> Money Market (Mutual fund) は安全性の高い短期金融商品を中心に運用するファンドであり、それ以外のは Long-Term (Mutual Fund) と定義する。

続いて、主要地域における投資資産別の資金動向を見ると、2012年は主要地域全てで純流入となったものの、地域間の差が大きかったことが分かる（図表2）。

米国（US）では、債券（Bond）を中心に4,300億ドルの資金流入があった一方、アジア（Asia）では、1,460億ドルの流入額のうち6割が短期商品（Money Market）に集中している<sup>3</sup>。欧州では、設定国でのみ販売されるファンド（Europe Local）への資金流入はわずか390億ドルであるが、ルクセンブルク、ダブリン、ケイマン等の地域で設定され、欧州域内のどの国でも自由に販売できるファンド（Europe Cross-border/Offshore）へは2,580億ドルもの純流入が見られた<sup>4</sup>。

図表2 2012年の主要地域における投資資産別資金動向



注：枠内の数値は合計値。  
出所：Strategic Insight データより NFI 作成

### （米国）新規設定の特徴： 株式ファンドに重点、ETF がブーム

2012年に米国で新規設定されたファンドは764本であった。これは同時期に日本で設定されたファンド数（443本）の2倍弱である。投資資産別で見ると、株式ファンドが466本、債券ファンドが170本と、株式ファンドが債券ファンドを大きく

<sup>3</sup> Asiaでは、日本、韓国、インド、中国（本土）、香港、台湾、シンガポール、フィリピン、タイ、マレーシアとインドネシアが含まれている。

<sup>4</sup> 欧州では、「譲渡可能証券への集合投資事業に関する欧州委員会指令」（略称 UCITS 指令）に準拠するファンドであれば、UCITS 指令に加盟する所属国で認可（承認）を受ければ、他の加盟国において改めて認可を受けなくても販売できる。“「UCITS IV の概要と UCITS 市場の発展」NFI リサーチ・レビュー2012年4月号参照”

上回る。また、年間流入額では、それぞれ 226 億ドル、207 億ドルと、流入額でも株式ファンドがリードしている。

一方、新規設定された個々のファンドの資金動向を見ると、年間流入額で首位となったのは「PIMCO Total Return ETF」である（図表 3）。このファンドは、25 年間の運用実績を持ち、日本でも販売されている債券運用大手 PIMCO の旗艦ファンド「ピムコ・トータル・リターン・ファンド」の上場投資信託（ETF）版である。アクティブ型 ETF は他にもあるが<sup>5</sup>、連動対象となる「ピムコ・トータル・リターン・ファンド」が世界最大級の債券ファンドであることもあり、米国でかなり注目を浴びている<sup>6</sup>。

なお、「PIMCO Total Return ETF」のような債券 ETF のほか、株式、リート、ゴールド等各種資産に連動する ETF が 2012 年に新たに 175 本設定され、2012 年末時点で ETN<sup>7</sup>を含めて米国で上場されている ETF は 1,456 本にのぼる。

図表 3 米国新規設定ファンドにおける流入額ランキング（トップ 10）

2012年末時点					
No.	ファンド名	設定年月	投資資産	運用会社	純流入額 (年間) (百万ドル)
1	PIMCO Total Return ETF	2012/2	Bond	PIMCO LLC	3,730
2	Wells Fgo Avg Absolute Return	2012/3	Equity	Wells Fargo	2,208
3	BlackRock Municipal Target Term	2012/8	Bond	BlackRock	1,478
4	Schwab Treasury Obligations Mny	2012/4	Money Market	Schwab	1,459
5	UBS Select Prime Capital	2012/7	Money Market	UBS Gbl AssetMgmt	1,143
6	PIMCO Dynamic Income	2012/5	Bond	Allianz Global Inv	971
7	Blackstone/GSO Strategic Credit	2012/9	Bond	Blackstone Advisor	795
8	FirstTr MLP & Energy Income	2012/11	Equity	First Tr Adv	791
9	Russell Multi Strategy Aternative	2012/8	Equity	Russell Invst Grp	759
10	JHF II Strategic Equity Allocation	2012/4	Equity	John Hancock	729

出所：Strategic Insight データより NFI 作成

（資産運用研究所 呂 潔）

<sup>5</sup> 従来、ETF はインデックスファンドと同様、株式や債券など代表指標に連動するパッシブ型ファンドであるが、2008年3月に世界初のアクティブ型ETFと言われている「The Bear Stearns Current Yield Fund」（ベアー・スターンズ・アセット・マネジメントが運用）が米国で誕生した。

<sup>6</sup> 2012年末時点、「ピムコ・トータル・リターン・ファンド」は2,854億ドル（約25兆円）の運用資産残高を有している。

<sup>7</sup> ETNは「Exchange Traded Note」の略で、「上場投資証券」または「指標連動証券」と呼ばれる上場商品である。